

令和 3年 4月 1日

荒尾市長 浅田 敏彦 様

道の駅あらお(仮称)基本構想等策定委員会
委員長 波積 真理



道の駅あらお(仮称)基本計画(案)について(答申)

令和2年9月3日付け荒産振第431号をもって本委員会に諮問のあった標記の件について、慎重審議の結果、「道の駅あらお(仮称)基本計画(案)」として成案を得ましたので、ここに答申します。

なお、4回にわたる本委員会における各委員の発言を踏まえ、下記の付帯意見を添えますので、これらの意見に十分配慮して道の駅あらお(仮称)の整備を実施されるようお願いいたします。

記

- 1 南新地地区ウェルネス拠点に立地する様々な施設の中心拠点として、心身ともに健康なライフスタイルと地域の元気をサポートできる施設として、市民や来訪者、そこで働く方、関わる方など、あらゆる世代の人々が集い、交流し、笑顔であふれる施設の整備に努めてください。
- 2 荒尾市の夕陽は、大きな魅力の一つであり、市民も気づいていないポテンシャルを秘めていると考えます。この夕陽をたくさんの方に知っていただき、楽しめる施設の整備に努めてください。
- 3 早期に運営事業者を選定し、民間の意向を踏まえた、詳細な施設計画及び運営計画を検討し、持続可能で安定した運営が実現できる施設の整備に努めてください。
- 4 保健福祉子育て支援施設との複合化については、道の駅あらお(仮称)の特徴の一つである機能連携において、大きな効果を発揮することが期待でき、また、コスト削減効果も期待されるものとして、前向きに検討されることを要望します。